

01 平成23年度横浜市社会教育コーナー管理運営報告書

事業対象施設 横浜市社会教育コーナー
 事業期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日
 管理運営団体 特定非営利活動法人 横浜市民アクト(理事長 福島 伸枝)

I 生涯学習事業

1	<p>受託事業の企画実施</p> <p>地域コーディネーター養成講座、生涯学習関係施設職員スキルアップ講座を行った。「地域コーディネーター養成講座」では生涯学習の理念を基本に、市民社会での自主的な学びから主体的な活動へとつながるよう、知識やノウハウだけでなく、コーディネーターが持つべき理念や考えを共有し、共に活動していく役割であることを常に意識してプログラムを企画、実施した。「生涯学習関係施設職員スキルアップ講座」では、さまざまな地域施設に働く職員が、それぞれ市民の交流・活動の場としてよりよい施設作りを目指せるように企画運営した。その結果、参加者同士の情報交換スキルアップに向けての交流もできた。</p>
2	<p>主催事業の企画実施</p> <p>コーナー事業として特徴的な絵画、英語学習に加え、23年度はボイストレーニング学習で、コミュニケーションの必要性を取り入れながら音楽や読み聞かせ等の活動のために企画した。応募者は多数あり、また参加者の満足度も大きかった。磯子区活動グループ「思いつき楽しい国際交流」と共催しての英語でトーク、地球温暖化対策事業本部のエコスクール登録グループとしてエコカフェ開催では、磯子区の男性による学習グループの協力があつた。昨年に引き続き家庭教育学級も実施し、運営委員が自立的な動きになるように支援した。コーナー利用者と協力し、「おまつりだ!」を7月に実施、コーナーPRにつなげた。</p>
3	<p>相談業務の遂行</p> <p>サークルを探しているなどの気軽なものから団体の運営課題解決につながる内容まで多岐にわたり対応している。アクト主催業から事後グループづくりに向けての相談もある。さらに一般市民の方のチラシ等活動の広報や、活動会場等の問合せ等に対し、コーナーや磯子区の情報だけでなく広い地域の内容について相談対応している。相談から、情報の交流があり、事務所職員は常時フレッシュで、正確な情報を届けるよう努めている。</p>
4	<p>その他生涯学習推進に関わる事業</p> <p>親子の広場事業に関しては、磯子区子育て支援拠点をはじめ同様の事業を展開してる団体が増えてきた中、相互協力しながら、トレーニングルームでの活動的な内容を前面に広報し、事業の差別化を図った。親子にとって選択肢が増えることもよいことであり、現在リピーターも増えてきた。</p> <p>花の土曜会は、担い手が磯子区内住民であるので、頻繁に立ち寄り土や植物の状況など手入れをし、定例活動では声をかける歩行者も多い。コーナーの花壇をはじめ植栽管理を一手に担ってくれている。</p> <p>子どもの読書活動に関係する人達が自主グループ「読書活動推進プロジェクト」を立ち上げ、アクトと連携して「おはなしの国」養成講座等で講師やスタッフとして活躍。併せて読書コーディネータを対象に交流会を開催。少しずつ自立団体として力をつけている。</p>

II 施設の運営事業

1	<p>開館体制</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">開館日数</td> <td style="width: 15%;">平日</td> <td style="width: 15%;">281 日</td> <td style="width: 15%;">日曜・祝日</td> <td style="width: 15%;">65 日</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">計</td> <td style="width: 15%;">346 日</td> </tr> <tr> <td>閉館日数</td> <td>休館日(施設点検日)</td> <td></td> <td></td> <td>12 日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>特別休館日</td> <td></td> <td></td> <td>0 日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>年末年始</td> <td></td> <td></td> <td>8 日</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td>366 日</td> </tr> </table>	開館日数	平日	281 日	日曜・祝日	65 日	計	346 日	閉館日数	休館日(施設点検日)			12 日				特別休館日			0 日				年末年始			8 日	計	366 日
開館日数	平日	281 日	日曜・祝日	65 日	計	346 日																							
閉館日数	休館日(施設点検日)			12 日																									
	特別休館日			0 日																									
	年末年始			8 日	計	366 日																							
2	<p>人員体制</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">事務長(施設の運営業務責任者)</td> <td>鈴木 やよい</td> </tr> <tr> <td>生涯学習推進責任者</td> <td>笹井 宏益</td> </tr> <tr> <td>施設の管理業務責任者</td> <td>鈴木 やよい</td> </tr> <tr> <td>施設の防犯・防災担当者</td> <td>福島 伸枝</td> </tr> </table> <p>コメント</p> <p>職員6名と、アルバイト2名(夜間勤務)が勤務。施設の管理をする上で、まず安心・安全をモットーに定時に開閉館を行い、館内を清潔に保つことを心がけた。また多くの利用に繋がるよう利用者とのコミュニケーションに務め「声掛け」を遂行した。</p> <p>月1回の事務所会議で、課題の洗い出しから解決とふりかえりを共有し市民施設の役割を確認しながら公平な利用の促進を図った。</p>	事務長(施設の運営業務責任者)	鈴木 やよい	生涯学習推進責任者	笹井 宏益	施設の管理業務責任者	鈴木 やよい	施設の防犯・防災担当者	福島 伸枝																				
事務長(施設の運営業務責任者)	鈴木 やよい																												
生涯学習推進責任者	笹井 宏益																												
施設の管理業務責任者	鈴木 やよい																												
施設の防犯・防災担当者	福島 伸枝																												

Ⅲ 施設の管理事業

1	清掃体制	日常 各部屋・トイレ、回廊、交流スペース、中庭、スポーツ広場の清掃整備 月次 室内及び窓ガラスの洗剤、クリーナーによる丁寧清掃
2	管理体制	別紙「横浜市社会教育コーナー保守管理維持管理報告書」のとおり

Ⅳ 生涯学習講座事業報告 別紙「横浜市社会教育コーナー生涯学習講座事業報告書」のとおり

Ⅴ 収支決算書 別紙「横浜市社会教育コーナー管理運営業務収支報告書」

< 補足事項 >

1 研修体制

項目	日付	人数	内容	主催
生涯学習	4/8	2	新任生涯学習支援関係職員研修	市教委
生涯学習	5/14	3	上菅田小学校、地域コーディネーター研修会	上菅田 地域コーディネーター
生涯学習	5/27	1	東京都教委社会教育指導者研修「学校教育支援施策研修」	東京都教育庁 地域教育支援部生涯学
施設	6月	5	公共建物研修会	建築局保全推進課
施設	6/10	1	労務研修(基礎算定説明会)	職業安定所
市民活動	7/5	1	協働研修(ファンリテーターとして出席)	市民局
生涯学習	8月	1	県読書関係人材研修	県教委
施設	8/5	2	港南区施設交流会公開編「利用者を担い手に変える！施設運営の在り方」	港南区役所・区民活動支 援センター
生涯学習	9/13	1	教委テーマ別研修「大人の学びを育む」	市教委
市民活動	9/17	1	戸塚区地域コーディネーター交流会	とつか区民活動センター
施設	11/7	1	年末調整等の説明会(磯子公会堂)(11/7)	
読書活動	####	1	第13回図書館総合展	図書館総合展実行委員会
生涯学習	12/1	1	生涯学習支援・地域支援関係職員テーマ別研修	市教委
市民活動	1/13	1	名古屋在住のファンリテーター岡田敏克さんの話を聞く会	ファンリテーション勉強会
生涯学習	1/26	1	「関東ESDコーディネーターあり方検討会」	ESD-J
市民活動	1/27	1	「協働推進指針見直しのための検討会」スピーカーとして	市民局
市民活動	1/30	1	相鉄沿線4区子育て支援者交流会(講師として)	相鉄沿線4区 子育て支援者交流会
生涯学習		2	東部事務所学校地域連携担当研修会	東部事務所
市民活動		1	第2回戸塚区地域コーディネーター交流会	とつか区民活動センター・区役所
生涯学習	2/1	1	夢ファンド研修会「共感をカタチに変えるファンドレイジング」	市民局
市民活動	2/4	1	ヨコハマbデイフォーラム(横浜環境活動賞表彰式の後半)	環境局
その他	2/6	2	青葉区学校地域コーディネーター交流会	北部教育事務所
読書活動	2/9	1	磯子図書館交流会	磯子図書館
市民活動	2/18	1	「まちづくり人、全員集合！」ヨコハマ市民まち普請、現場体感バスツアー	都市整備局地域まちづくり課・アク ションポート横浜
その他	2/26	1	ESD関東学びあいフォーラム	ESD-J
生涯学習	3/7	2	国社研修「被災地支援と社会教育」	国社研
生涯学習	3/7	1	講座「育ちを見守る、自分を見つめる」	大島中コミハ
市民活動	3/13	1	イギリスの行財政改革とNPOの社会性評価	共同の新たなステージへ の環境創出事業体
施設	3/23	1	指定管理者研修	政策局

凡例:上野(国立社会教育研修所)、市教委(横浜市教育委員会)、市活センター(市民活動支援センター運営団体、自主事業受託団体)

2 連絡調整会議開催

調整会議参加者	教育委員会 4人	特定非営利活動法人横浜市民アクト 6人
日程	平成23年10月26日	
22年度会議が東日本大震災によりキャンセルになり、23年度として実施		

3 利用者会議の開催（参考資料：第6回利用者会議議事録添付）

会議の目的	利用者ニーズを反映した施設運営の推進、及び今後の施設運営の協力体制の構築	
会議参加者	研修室を利用するグループ	2組 2人
	アートルームを利用するグループ	3組 1人
	トレーニングルームを利用するグループ	1組 1人
	講座修了生グループ	1組 1人
	特定非営利活動法人横浜市民アクト	3人
	オブザーバー	3人
開催日	2月28日	午後1時30分～3時

4 その他利用者ニーズを反映した取組み

(1)	<p>情報交換について 窓口対応を中心に、利用団体からのニーズを聞き取るようにした。また毎年実施の利用者アンケートを実施。（結果は別紙添付）。併せて主催事業では参加者アンケートを心がけ、課題の掘り起こしとして次の企画資料とする。</p>
(2)	<p>ご意見箱について コーナー窓口に常時設置し、気軽に意見を頂くよう工夫している。（事例）研修室折りたたみ椅子について、「高齢者にはタイミングで倒れることがあり危険だから、重ね合わせられるタイプの椅子にしてほしい」というご意見があった。研修室Bの机交換時に対応した。</p>
(3)	<p>学習相談者との情報交換について 窓口や電話での学習相談問合せについて、日中の事務局スタッフの多数は経験豊富で、多面的に情報を持っている。がそれに甘んじず必要に応じて研修に参加したり、事務所会議での情報共有等で対応している。また、内容によっては、市内各区や磯子区の生涯学習支援センターへの紹介なども積極的に行った。</p>

5 講座等参加者ニーズを反映した取組み

(1)	<p>講座等の参加者からのニーズと取組み 主催事業参加者へはアンケート等を実施し、企画のふりかえりや次のプログラムへのヒントを収集する。</p>
(2)	<p>講座等の修了生や会議室の利用者からのニーズと取組み 好評な講座については、内容や講師にバリエーションを加え、新たな人材と参加者の広がりを図る。またアンケートを初めとする利用者ニーズは担当者だけでなく、事務所内で情報を共有し検討したうえで迅速に対応した。</p>

6 利用者層拡大への取組み

(1)	<p>多様な講座を実施し、多様な市民への拡大 対象を一般成人だけでなく子育て世代も対象に事業（ベビーマッサージ、親子の広場、家庭教育学級など）を実施。区民グループとの協働事業「英語でトークinSOGO」、「古文書講座」など、地域の活動団体との連携も意識し、実施した。</p>
(2)	<p>市の行事やイベントとリンク 地球温暖化対策事業本部のヨコハマ・エコ・スクール実施団体に登録し、講座を実施した。</p>
(3)	<p>多様な広報により情報発信する コーナーのHPの充実により事業の申し込み等が増加。各区支援センター、横浜市民活動支援センターの協力（紙情報、メルマガ、メーリングリスト）、とりわけ磯子区広報相談係による「お届け便」掲載を活用する。お届け便から区版広報紙（磯子区、神奈川区）への掲載、タウン誌掲載なども増やし、より多くの市民のもとへ情報が届くよう努力した。</p>

(4)	<p>他の機関とのネットワークを活用 磯子図書館と連携し、おはなしの国読み聞かせボランティア養成講座へ専門職員の講師や図書の協力など依頼、共に子どもの読書活動の環境整備に努めてきた。 また、当館での事業に地域ケアプラザに登録の保育ボランティアに協力を依頼。「磯子区子育て支援ネットワーク」に参加し、子育て支援拠点や同様の事業を推進している団体との情報交換を行った。 磯子区NPO連絡会の一員として、事業参加(いそご地域活動フォーラムなど)も積極的に行った。 磯子区施設長連絡会にも参加し、今後の連携事業に繋がるよう情報交換を行ってきた。</p>
(5)	<p>広く市民にコーナー及びNPO法人横浜市民アクトの周知を図ることができたか 教委研修等へ参加し顔をつなげてきた。また各区で市民の活動支援を展開している「区版市民活動・生涯学習支援センター」が発行している情報紙や作成物の定期収集を積極的に行う。同時にコーナーのリーフレットを配布しコーナーの機能の一部を知ってもらい、市民に繋がる工夫をした。しかし今後より一層の工夫と努力が必要と考える。 社教コーナー、アクトのHPを充実させたことにより、相談や事業への参加の増加などすこしずつ成果が表れて</p>
(6)	<p>地元の町内会に密着した取組み 町内会組織との取り組みは特になかったが、広報印刷などのためにコーナーの印刷機利用する町内会が増えた。また、近隣マンションの管理組合の多くが団体登録をしている。総会や打合せなどに利用されており、来館時に他の活動での拠点としての問い合わせなどもある。</p>

7 市民や利用者との協働による施設運営

	サポーター名	活動の内容と結果
A	環境と緑のサポーター	「花の土曜会」と命名したサポーター自身が、当館及び道路を歩く人々の目をなごませることを楽しみながら、花壇の手入れを行っている。イモの植え付けを行い、結果として子どもたちのイモ掘り体験の機会提供企画も自主的に実施するようになった。さらに、クリスマス時期に子ども向けの工作教室も行った。
B	ITサポーター	職員の努力によりHPの充実、利用システムの活用ができ、サポーターに依頼しなかったが、ときどき立ち寄り情報交換した。
C	講座サポーター	地域コー養成講座報告会では、10人余の修了生(地域コーディネーター)が受付から司会、記録など役割の一端を担い進行もスムーズに行われた。
D	子育て支援サポーター	親子の広場を継続的に開催するために、子育て支援グループ「ばばばるーん」により、円滑な事業運営が実施できた。年度途中から当事者世代のサポートメンバー1名が増えた。

8 防災・防犯対策

(1)	<p>緊急時の対応に関するマニュアルを作成及び徹底と掲示等 緊急時、教委・消防・警察等への連絡及び対応マニュアルを作成、また通報アナウンスのマニュアルを事務室内へ掲示し、職員研修を行った。AED内部部品の取り換え時期が来て、注文し取り替えた。</p>
(2)	<p>防災の観点から施設や設備の管理を徹底 消火器設置場所の館内掲示、閉館時のガス・電気温水器・タバコの始末等、日誌にチェックする体制を実施。今年度も防火対象物点検を受ける。</p>
(3)	<p>緊急事態発生時に対する職員への教育を徹底について 職員全員防災管理者の資格取得及び研修を実施</p>
(4)	<p>周辺関係機関との治安に関する情報交換と収集について UR機構と情報交換等を行う</p>
(5)	<p>防災訓練の実施 消防設備点検時に来館者の協力も得て実施</p>

9 各種保険の加入について

- (1) 建物総合賠償責任保険
- (2) 火災保険
- (3) 個人情報漏えい賠償責任保険

10 個人情報の管理

チェック	内容と実施の状況
✓	施設内の個人情報の洗い出し: 各種講座申込者の名簿を把握、一元化する作業を行った。
✓	方針や規程の作成、監査や教育について話しまとめる: 研修に向けて個人情報保護についての方針について話し合った
✓	定期的な監査の実施
✓	ボランティアも含め教育・研修の実践

11 他機関との連携

(1)	横浜市行政機関等との連携 市民局協働部門の各種委員、第三者評価委員、戸塚区及び青葉区区民協働事業選考委員、等を行う。港南区「新たな人材育成」研修の講師として対応。
(2)	大学、専門学校、小中高等学校等との連携 国際留学生会館では、講師に留学生1名を紹介してもらう。東京都江戸川区「江戸川総合人生大学」に講師として対応し東京のまちづくりの一端を担う。
(3)	他団体との連携 磯子区NPO連絡会に企画担当として参加。ブース展のプロデュースを行った。 山手芸術祭実行委員会に参加、2月にイベント2本を企画すると共に、会計の任を果たした。 市内で活動している多くの団体と連携し事業を実施。(事例) およこの広場事業では「ばばばるーん」とおはなしの国事業では「読書活動プロジェクト」と古文書講座では「磯子古文書の会」と飯館村報告会では「横浜ネットワーク研究会」など多数。

02 平成23年度保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施年月日	実施結果
設備建物維持管理	1回/月	定期点検	スタッフによる月次点検		別紙「設備点検記録表」のとおり
空調設備の清掃点検	1回/2ヶ月	定期清掃	フィルターの清掃		別紙「設備点検記録表」のとおり
消防用設備点検	2回/年	定期点検	消防法上定期点検	平成23年4月25日	異常なし
				平成23年10月31日	異常なし
自動ドア点検	2回/年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス(法定点検)	平成23年4月6日	異常なし
				平成23年10月13日	異常なし
非常通報装置点検	2回/年	定期点検	保守管理	平成23年4月25日	異常なし
				平成23年10月31日	異常なし
防火対象物点検	1回/年	点検	消防法上必要書類一式点検及び館内点検	平成23年5月30日	異常なし
清掃業務	毎日	日常清掃	研修室等室内清掃及びトイレ・回廊掃除中心		別紙「設備点検記録表」のとおり
	1回/月	定期清掃	館内丁寧清掃		別紙「設備点検記録表」のとおり
小破修繕	随時				下欄内訳のとおり

小破修繕内訳書

7月22日 サッシ窓のパッキン取替え

12月9日 女子トイレ和便器タンク水漏れ修理

03 平成 23 年度生涯学習講座事業報告書(受託事業)

講座名	地域コーディネーター養成講座	生涯学習関係職員スキルアップ研修
回数	①講座3回+研修1回 ②見学会1回 (③参加校へのヒアリング、④活動報告会)	3回
広報活動	教委生涯学習文化財課が、市立学校全校に対し広報を行う	生涯学習文化財課より、各区地域振興課、健康福祉局地域支援課を通じて各施設へ
時期	講座研修:2011年6月20日～7月4日 合同研修:8月6日、見学会:9月26日 学校訪問・情報交換:9月6日～11月18日 活動報告会:2012年1月28日	平成24年1月23日～2月24日
指導者名 (コーディネーター)	教委(生涯学習課)、生重幸恵、笹井宏益 小林康夫、時任和子、井上尚子、高橋由美子、 佐藤晴雄 事例発表:戸塚中、中川小、芹が谷中学校 見学会:幸ヶ谷小学校	笹井宏益・共創推進室・福島伸枝・平林孝枝
参加人数	97人(養成講座参加者のみ)人	29人(延べ73人)
講座開設に要した経費	1,099,665円	175,560円
自己評価 (3段階評価)	A・B・C	A・B・C
事業報告書	別紙冊子 平成23年度横浜市地域コーディネーター養成 講座事業報告書	別紙冊子 「平成23年度生涯学習関係職員スキルアップ 研修」報告書
アンケート結果 (受講生ふりかえり シートより)	<ul style="list-style-type: none"> ・生重さんの「キャリア教育」の話はとても興味深かった。子どもたちが学ぶことが楽しいと思える学校教育活動のお手伝いをする仕事は魅力的だと思えた。 ・現在子どもを学校に通わせている保護者として、役員やボランティアで活動しているので、コーディネーターとしへの活動をどのようにしたらいいのか困惑しています。 ・ロールプレイは短時間で役割分担を決めながらのコミュニケーションの中でスムーズにこなせたことは参加されている方々の立場や経験が活かされていると感じた。 ・学校とのコミュニケーションの重要性がよく理解できた。学校における学校地域コーディネーターの居場所があることが重要と思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回参加して、ひとくちに「施設」といっても多様な施設があることを再認識しました。ワークを最初にやったお陰で、それぞれの抱える問題点を聞くことができ、それに伴い互いの施設の特性を知り、話し合えたのが良かったです。 ・指定管理者制度の概要、制度の運用状況、第三者評価制度などについての理解が深められて良かったです。ワーク1では施設の設置目的について改めて考えることができました。考えてみると、日常の業務の中ではあまり意識していなかったことに気づきました。今後は普段から意識することでより目的に沿った行動・判断をしていくことが必要と感じました。ワーク2では自分では思いつかない様々な工夫を聞くことができました。「集う」の項目ではリラックスできる場づくり、スタッフの明るい対応などの接遇面や安心・安全な施設にするなどの環境面は盲点でした。
備考	<p>100人近い参加者を対象にコミュニケーション研修は困難のため、講座第2回は午前・午後2部に分けて行う。</p> <p>講座第1～3回の間受講者が担当校と話し合い、それをもとに第3回に具体的なコーディネート活動を考える。それによって、学校長や担当教諭と情報交換し、課題を共有することが大きな意義になった。</p> <p>先行事例校の見学から具体的な活動を知り、担当校での参考になる。</p> <p>学校訪問は学校と学校・地域コーディネーターの関係性の深まり、報告会での活動報告によりコーディネーターの今後の活動の継続や発展が期待される。</p>	他の施設でも同じような問題を抱えた中で活動を進めていることを知り、横の繋がりを広げていける機会はありがたいというふりかえりがあり、今後とも修了生の緩やかにつながりを続けていこうというようになった。

03 平成23年度 生涯学習事業報告書(コーナー自主事業)

	事業名	回数	時期	受講料	対象	募集人数	参加人数	受講料収入(円)	自己評価 (3段階評価)	備考
アート	アクリル絵の具クラス	6	4/26~7/12	6,500	一般	20	12	78,000	A+B+C	アクリル絵の具は油絵の具と同様の具を重ねて表現することができ、水彩や淡水画とは異なる書く楽しさを味わえる
	オイルパステルクラス	7	4/14~7/7	7,200	一般	20	16	115,200	A+B+C	講師が提案したプログラム内容「ゴッホひまわりの模写」で、効果ある学習を堪能できた。(参加者アンケートより)
	大人のための美術部	9	11/30~3/21	10,000	一般	20	20	200,000	A+B+C	プログラム内容は、講師の持つ幅広い知識や技術でバラエティに富んだものだったが、もう少しじっくりという声もあった。研修室Cを利用した。
語学	大人が学ぶ中学生英語「英文法」	10	4/13~6/22	11,000	一般	20	22	242,000	A+B+C	中1英語からスタートして継続した。当初からの受講者、途中参加者も満足し、事後グループ結成。講師への信頼感も高い。
	英会話入門講座	10	5/21~7/23	10,000	一般	20	25	250,000	A+B+C	講師はバイタリティあふれる教授法で、学習者をひきつける。事後グループが結成された。コーナー事業「おまつりだ!」に、講師が体験英会話教室を実施される。
	大人が学ぶ中学生英語 中学1年生	8	9/14~11/9	9,000	一般	20	21	189,000	A+B+C	新規の募集の参加者により、会場作りから講座準備まで実施され、途中欠席者や参加者もいたが、講師によると手ごたえを感じて終了する。
	大人が学ぶ中学生英語 中学2年生	10	1/11~3/14	11,000	一般	20	26	286,000	A+B+C	中1クラスからの人や今回からの参加者で、学習者の参加意欲にばらつきもあり、内容的には充実されて終了したが、継続教室は行わないことにした。
	ゆっくり英会話	14	11/14~3/26	15,000	一般	20	25	375,000	A+B+C	テキスト「シニアのためのゆっくり英会話」を利用し、明るい雰囲気での教室。経験豊かな講師により、初めて会話に挑戦する人も幾多の挫折を重ねた人も楽しく参加した。
	英語でトークin磯子(※1)	3	5/28~7/23	3,000	一般	30	延べ80	17,600	A+B+C	各回異なる外国人のスピーカーからの話題提起の後、質問タイムになる。共催グループの自立性が高まってきた。
音楽	合唱のためのボイストレーニング 3クラス	各4	4月~7月	4,800	一般	各20	延べ59	283,200	A+B+C	合唱をしている人、始めたい人のためのボイストレーニングなど、時期を変えて3クラス実施した。ずっと継続したいという希望もあったが、事後グループには至らなかった。
	美しく歌う 童謡・唱歌・愛唱歌(※2)	10	10/15~2/18	7,500	一般	35	34	232,000	A+B+C	音符を読めなくても知っている歌を中心に選曲したことで、無理強い感はなかったようだ。逆にチャレンジしたい人には物足りなかった。受講料分割方式を取り入れたが、結果的に継続がほとんどで、毎月の業務は参加者にも事務局にとっても手間だった。
人材育成	おはなし会のためのボイトレ 3クラス	各4	10月~2月	4,800	一般(おはなし会活動をされている方)	各20	延べ47	225,600	A+B+C	活動されている方中心だったが、後半の募集では、単純に発声困難解消を求める参加者が増加。本来の狙いで実施する方向性を模索するが、参加者の満足度は高かった。
	記念講演会「横浜型活動を考える」&交流会	1	5月	0	だれでも	100	100	-	A+B+C	ビデオ「昭和30年代の横浜での市民活動黎明期」の内容とフォーラムの内容が良く合い、配布資料もよく、参加者からの積極的な意見交換があった。
	人つながり講座									開催時期と広報のタイミングが悪く、集まりが悪かったので実施せず。
	エコカフェ『どこへ行く私の古着』(※3)	1	3月	500	一般	40	25	12,500	A+B+C	約70年前から繊維製品の回収ならびにリサイクルに携わった会社経営者による事業内容を通してのエコ観、グローバルに行う経営内容等を通して、参加者に繊維についてのエコ生活を提起した。
子	おはなしの国ボランティア養成講座	5	10/8~11/29	1,200	子ども読書に関心ある人	30	29	34,800	A+B+C	子ども夢基金の助成金を基に実施。子どもと本をつなげる環境を整えることが目的。修了生はチームを組んで「おはなし会」に出演。
	おはなしの国講演会(※4)	1	2月7日	500	子ども読書に関心ある人	100	80	34,000	A+B+C	子ども夢基金助成金を基に実施。作家の清水真砂子さんを講師に公開講座「生きるちから」をテーマとし、本が持つ力や創造することの大切さなど分かりやすい内容で、好評であった。
	おはなしの国(おはなし会)	12	毎月1回	0	幼児~一般	-	延べ338人	0	A+B+C	毎月第3土曜日に開催。出演は地域でおはなし会や読み聞かせをしているグループと養成講座修了生。参加者はリピーターも多くいて、毎回楽しい雰囲気で行われている。

主催事業

	事業名	回数	時期	受講料	対象	募集人数	参加人数	受講料収入(円)	自己評価 (3段階評価)	備考
育て支援	家庭教育学級ぱんぷきん(※5)	5	9月～11月	2,500	未就学児親子	20	16	40,800	A・B・C	当事者世代による運営委員が企画実施する形式で行ってきた。母親たちの社会参加の入り口としての役割を果たしている。
	親子の広場(※6)	全11回	毎月最終月曜日	150	未就学児親子	-	延べ129人	0	A・B・C	親子が広い場所で動きながら交流できる場を提供、ときに工作やパネルシアター、栄養士の話などのプログラムも行いながらサポーターが運営する
	ベビーマッサージ 4クラス	4	6月、9月、12月、3月	1,000	一歳未満の親子	各16	延べ56	56,000	A・B・C	恒例の事業となり、新規参加者にコーナーの存在を広報する意義もある。また短時間であるが参加者にとって交流の機会の場となっている。
	花土こども工作教室	1	12月		未就学児からその保護者	20	15	0	A・B・C	花の土曜会特別バージョンとして実施。植物の成果(つるや瓜など)を利用しつつ、リース作りなどを行う。
交流	花の土曜会	24	定例会12回 その他12回以	0	一般	延べ79人	51	0	A・B・C	道路沿いの緑地をボランティアと共に緑化活動する。ボランティアグループの自立性を目指しつつ協働する。
	おまつりだ! (※7)	1	7月		子どもから大人まで		750	22,900	A・B・C	12団体の協力を得て実施。事前収穫した小芋のから揚げ販売、チアダンス、親子の広場スペシャル、人形劇、バンドなど。たくさんの方の来館者を得た。
	年末交流会	1	12月		登録利用団体		50		A・B・C	清掃活動と団体交流会をあわせて行う。同じ部屋を利用する団体同士で清掃の手順を考え実施する。終了後は活動状況についての交流になった。
	報告会「飯館村のその後」	1	1月	0	だれでも	-	50	0	A・B・C	飯館村職員により、原発避難後の生活及び復興について語ってもらう。交流会も行う。
コーナー主催事業計						670	2,067	2,694,600	A : 25 B : 0 C : 0	

※1: 自主グループとの共催事業の為、収入は会場費、その他事務費等のみ ※2: 講座途中での参加受け入れあり

※3: 講師料は地球温暖化対策室支出 ※4: 養成講座参加者12名免除あり ※5: 保育おやつ代@200円×4人分含む

※6: 自主グループとの共催事業の為計上せず ※7: 焼きそば等販売収入

04 平成23年度管理運営業務収支報告書(横浜市からの受託事業を除く)

単位:円

		内訳	23年度予算	23年度決算	差引
項目	指定管理料		10,595,000	10,595,000	0
	利用料金収入		3,000,000	3,513,200	513,200
	事業収入		2,630,000	2,694,600	64,600
	その他収入		350,000	270,286	-79,714
収入合計(A)			16,575,000	17,073,086	498,086
項目	人件費	別紙のとおり	9,975,000	11,352,469	1,377,469
	管理費		2,400,000	2,139,273	-260,727
	事業費		2,310,000	1,417,196	-892,804
	事務費		1,100,000	968,570	-131,430
	利用料金減免費		0	0	0
	利用者ニーズ対応費		300,000	337,002	37,002
	公租公課		490,000	322,000	-168,000
支出合計(B)			16,575,000	16,536,510	-38,490
収支差額(A)-(B)			0	536,576	536,576

収入増・支出減に向けた取り組み	研修室Cがオープンし、当初の利用団体規制を少しずつゆるめながら、利用増進に向けた。英語、音楽や絵画の事業でリピーターを呼び込み、安定的に参加者を確保するようにした。その一方で、適宜グループ化することにも力を尽くした。
-----------------	--

翌年度に向けた改善点	施設管理の点から言えば、震災後利用者の理解もあり、廊下の電気等消灯に努め経費の削減にもなった。今後も安全面の配慮も踏まえ、電気使用量の削減に努める。 ホームページをリニューアルし、利用団体のPRをホームページを利用しつつ発信する。その結果、市民の元に情報が伝わり、自主事業参加をうながす。また、今まで以上に事後グループへの移行がスムーズに行われるよう努める。
------------	--

04 23年度管理運営業務収支内訳書

単位:円

項目	22年度 コーナー管理運営 業務収支	23年度 コーナー管理運営業務収支		備考
	決算	決算	内訳	
収入 (A)	指定管理費	10,595,000	10,595,000	
	利用料	3,427,700	3,513,200	
	事業収入	1,651,590	2,694,600	
	その他	303,560	270,286	コピー印刷、自販機、その他
	小計	15,977,850	17,073,086	
支出 (B)	人件費	10,144,533	11,352,469	給与全般、通勤費
	管理費	2,116,783	2,139,273	光熱水費、定期清掃、各種設備点検、修繕等
	コーナー自主事業費	1,131,400	1,417,196	謝金、事務費等
	事務費	1,356,806	968,570	
	旅費			0
	消耗品			47,728
	会議費(食糧費)			0
	印刷製本			299,993
	通信費			168,278
	備品購入			452,571
	その他事務費			
	利用料金減免費	61,800	-	
	利用減免費			
	利用料金減免戻入費			0
	ニーズ対応費	1,030,100	337,002	新聞代、モップ交換、書架整備、廊下照明灯等
税金	483,300	322,000		
小計	16,324,722	16,536,510		
差引収支(A)-(B)	-346,872	536,576		

23年度利用料金収入

単位:円

一般利用	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	ラーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	累計
	4月	52,800	17,000	83,200	94,400	52,600	13,700	0	313,700	313,700
	5月	46,200	16,000	96,400	97,600	50,750	11,700	0	318,650	632,350
	6月	39,000	20,000	76,800	84,000	38,700	9,200	0	267,700	900,050
	7月	63,900	16,000	81,600	107,200	33,100	7,800	2,400	307,200	1,207,250
	8月	38,400	21,000	70,400	83,200	34,300	8,400	4,650	251,050	1,458,300
	9月	68,400	29,000	75,200	100,000	49,500	9,600	1,950	329,750	1,788,050
	10月	65,000	17,000	67,200	83,200	49,700	10,200	1,350	290,950	2,079,000
	11月	57,600	19,000	75,600	83,200	41,200	7,400	4,500	279,500	2,358,500
	12月	57,000	30,000	86,800	95,200	40,600	9,900	0	319,500	2,678,000
	1月	47,600	32,000	54,400	98,400	41,600	5,700	2,200	277,500	2,955,500
	2月	58,200	27,000	51,200	85,600	46,900	6,000	0	274,900	3,230,400
3月	56,000	31,000	68,800	76,800	47,000	7,500	4,300	282,800	3,513,200	
計	650,100	275,000	887,600	1,088,800	525,950	107,100	21,350	3,513,200		

23年度 利用料金収入

単位:円

月	コピー代	自販機売り上げ	シャワー	計	累計
4月	20,643	5,200		25,843	25,843
5月	25,694	5,100		30,794	56,637
6月	12,432	4,320		16,752	73,389
7月	8,875	12,660		21,535	94,924
8月	15,559	6,720	900	23,179	118,103
9月	18,051	6,820		24,871	142,974
10月	11,924	6,320		18,244	161,218
11月	27,928	6,320		34,248	195,466
12月	16,481	7,060		23,541	219,007
1月	11,662	4,600		16,262	235,269
2月	13,147	5,880		19,027	254,296
3月	11,150	4,440	400	15,990	270,286
計	193,546	75,440	1,300	270,286	270,286

05 平成23年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

<部屋別>

<時間帯別>

		研修室A	研修室B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	交流スペース	スポーツ広場	午前	午後	夜間	合計	
利用人数		6,252	3,260	3,346	9,858	12,721	3,260	2,157	18,159	15,966	6,729	40,854	単位:人
	前年	7004	3,091		9,482	13,662	1,978	2,541	17,438	14,124	6,196	37,758	
利用コマ数		442	326	296	578	1,323	365	523	1,626	1,604	623	3,853	単位:コマ
	前年	484	382		585	1,277	335	608	1,595	1,555	521	3,671	
		977	977	977	977	1,954	977	1,226	3,016	3,027	1,921	7,964	
利用率(※)		45.4%	33.5%	30.4%	59.2%	67.8%	37.3%	43.0%	60.9%	52.5%	35.3%	50.7%	単位:%
	前年	51.0%	40.1%	-	61.8%	66.9%	35.0%	50.8%	69.0%	60.3%	36.7%	57.2%	単位:%
利用率対前年比 (単位:%)		89.0%	83.6%	-	95.8%	101.4%	106.5%	84.6%	88.2%	87.1%	96.2%	88.6%	単位:%

<月別合計数>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
利用人数 (単位:人)		3,179	3,288	3,882	4,238	2,669	3,331	3,685	3,356	3,351	2,897	3,482	3,496	40,854
	前年	3,066	3,170	3,484	3,876	2,838	3,197	3,407	3,330	2,698	2,935	3,134	2,623	37,758
利用コマ数		310	300	349	340	262	331	338	333	316	297	345	332	3,853
	前年	317	315	327	332	282	306	315	316	272	285	310	294	3,671
	総数	682	644	690	698	714	673	695	671	603	629	662	685	7,964
利用率(※) (単位:%)		47.0%	47.0%	54.8%	53.2%	36.6%	52.5%	51.6%	53.3%	55.9%	50.9%	56.5%	49.2%	50.7%
	前年	56.8%	54.9%	60.5%	58.6%	45.9%	57.8%	56.9%	58.8%	57.5%	57.3%	60.5%	61.5%	57.2%
利用率対前年比 (単位:%)		82.6%	85.5%	90.6%	90.8%	79.8%	90.8%	90.7%	90.7%	97.2%	88.8%	93.3%	80.1%	88.6%

コメント

4月から研修室Cをオープンしたことで、研修室全体の利用人数が増加している。また研修室Bの机の配置を変更したことでアートルーム利用の絵画グループが研修室BやCに移動して利用することが多くなっている。交流スペースでゲーム遊びをする特定の小中学生が増えている。マナーに気をつけるよう、かなり注意する。

利用率向上のために行った取組み及びその効果

アートルームの利用希望の絵画グループに、丁寧に研修室の利用も可能なことを窓口で伝え利用申込みを受けている。その結果、研修室Cの利用に併せて他の研修室の利用アップにも波及している。
登録団体のリピートを挙げるために、年末交流会(大掃除)参加団体に特別利用枠を1コマ分増やしたことで、昨年度より交流会参加率も上がった。結果皆で施設の清掃ができ、相互に顔が繋がった。

新たな利用率向上のための取組み

登録団体に対して、団体情報の広報支援として館内掲示板やチラシ配架台を提供する。また会員募集情報はコーナーホームページでも対応することにより、問い合わせを団体につなげることも増えた。今後は団体の会員募集情報をまとめて「サークル情報紙」を作成、区内はもとより市内の施設・関係機関等へ配布。より活動の活性化へつなげていきたい。

横浜市社会教育コーナー利用団体状況

	活動分野	登録団体数	
研修室	外国語	14	100
	ゲーム	2	
	健康福祉	4	
	子育て支援	8	
	自治会・管理組合	11	
	手工芸	5	
	書道	11	
	青少年	1	
	地域市民活動	34	
	俳句	4	
	パソコン	3	
	歴史文学	3	
アートルーム	演劇	1	80
	絵画	22	
	合唱	43	
	器楽	9	
	詩吟	1	
	人形劇	2	
	朗読	2	
レニングル	ダンス	57	104
	ヨガ	1	
	太極拳	27	
	体操	14	
	卓球	5	
スポーツ	テニス	128	128
計		412	